

日本野外教育学会 20周年記念事業の進捗状況について

20周年記念事業特別委員会
委員長 平野 吉直

日本野外教育学会が発足して2017年度に20周年を迎えます。日本野外教育学会では、20周年記念事業を第20回大会の期間中に実施する計画を立て、現在準備を進めております。その進捗状況を以下に報告させていただきます。

1. 全体計画

20周年記念事業は、第20回大会とともに、2017年6月16日(金)～6月18日(日)の3日間で、国立オリンピック記念青少年総合センターを会場にして開催します。主な企画内容は、以下の通りです。

1日目 6月16日(金)	開会式、国際シンポジウム、 アワード表彰・特別講演
2日目 6月17日(土)	ワークショップ、 ポスターセッション、基調講演(記念講演)、 企画委員会シンポジウム、総会、情報交換会
3日目 6月18日(日)	研究発表、 閉会式

2. 国際セッション

20周年記念事業の国際セッションとして、1日目の午後に国際シンポジウムを開催します。海外から3名(Dr. Chris Loynes, Dr. Ihi Heke, Dr. Denise Mitten)の専門家をお招きする予定です。

Dr. Chris Loynes にはヨーロッパ、Dr. Ihi Heke にはニュージーランド先住民マオリ、Dr. Denise Mitten には北米、それぞれの野外教育の現状や課題を報告いただく予定です。なお、招聘者3名には、2日目のワークショップもあわせて実施を依頼しています。

3. 記念誌について

第20回大会時に学会員の皆様に配布する記念誌の発行を計画しています。

現時点での掲載内容は、①野外教育に関連した年表、②野外教育研究、③学会大会、④学会役員、⑤学会賞等の受賞者、⑥寄稿原稿(歴代会長等)、⑦座談会(若手研究者)を企画しています。

4. 表彰について

野外教育の進展に貢献した者を対象とした功労賞を設け、1日目にその表彰と受賞者の講演を計画しています。